



須坂学園構想基本方針(案)の説明会

5月30日より保育園等で保護者説明会を開催しています。



須坂市内保育園、幼稚園等の保護者の皆様に、須坂学園構想について説明会を開催しています。

これから小学校中学校へ入学するお子さんを子育て中の保護者ですので、学園構想で一番影響があります。

参加者からは、「少子化に伴う課題を学園構想によって克服してほしい」「高校進学を考えた時、いきなり大人数になることは子どもにとって負担になるので、ある程度の規模になってほしい」「既存の教育システムにとらわれない柔軟な教育に取り組んでほしい」「教科担任制が導入されるので、先生方の専門性が生かされ理解力が深まるのではないかなど期待の声が寄せられました。

学園構想は長期的な計画になりますので、「子どもが小学校中学校に進学する頃にちょうどプロジェクトが始まり出す頃になると思うが、最終的に生徒数が少なくなってしまうのではないかなど不安の声もいただきました。また、「高齢な方の意見だけでなく、若い世代の声もぜひ優先してほしい」「12から14年後と言わずに、早急に実現してほしい」との要望もいただきました。

7月7日より地域説明会を開催しています。

地域のブロックごとに順次、説明会を開催しています。これまでに、豊丘小(第12ブロック)、仁礼小(第11ブロック)、高甫小(第10ブロック)、生涯学習センター(第1・2・5ブロック)、臥竜山公会堂(第4ブロック)、森上小(第3ブロック)で行い、200名を超える方にご参加いただいています。残りのブロックでも8月中旬に説明会を開催します。

参加された皆様から、様々な意見をいただいております。「地元に学校を残してほしい」「学園構想の必要性と課題を論議し理解を深めるようにしてほしい。」「生徒児童数が減ること

ことでどのような影響があるのかももっと具体的に知りたい」「小中学校の統廃合は少子高齢化社会でやむを得ないし、上手くやっていくしかない」という趣旨のご意見をいただいています。

須坂市教育委員会では、4年前から子どもの学びのありか方についての検討を始め、「須坂市小中学校適正規模等審議会」が実施した市民アンケートや、審議会の答申を踏まえて須坂学園構想基本方針(案)を作成しました。

保育園等の説明会での要望にもありましたが、地域説明会に若い世代の方の参加が少ないのが現状です。幅広い世代の声もいただきながら、基本方針案をもとに、新しい学びを実現できる学校づくりを考えていきます。

